

第1号議案

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 ふかや精神保健福祉の会まゆだま

社会福祉法人ふかや精神保健福祉の会まゆだま
令和5年度 事業報告

【法人本部】

新型コロナウイルス感染症が2類から5類へと引き下げられ、マスクの着用についても任意となるなど、コロナ渦以前の生活へと戻りつつある一方で、感染者が再び増加に転じた時期もありました。当法人においても、2回目の感染者が表れるなど影響を受け、その他にも幼児を中心に様々な感染症が流行し、子育て世代の非常勤を抱える事業所では勤務調整に苦慮した一年でした。それでも当法人においてはマスクの着用を促すなど、従来通りの感染対策を継続してきたため、感染拡大を招くことなく平常の活動を継続し、一日も活動を止めることなく、利用者への支援が続けられました。

就労支援では、はぶたえ移行支援事業から2名が、継続事業からも1名就職者が出ています。フレンドリーでは残念ながら就職に結びついた方はいませんでしたが、実習や短期訓練など、力をつけてきた利用者にはそれ相応の支援を行いました。

所内作業においては、世界情勢や円高による影響か、受注数が大きく減少した会社もありましたが、平均工賃の計算方式が変更されたため、ランクを落とすことなく維持できまし

た。

就労定着支援事業「つむぎ」も6年目に入り、就労定着へ大きく貢献しています。

一方、共同生活援助事業グループホーム「桑ねっこ」は、専従職員の退職した穴をフレンドリー職員が兼務して埋めるという状況が長らく続いておりましたが、毎週月曜日にはぶたえ職員が固定で兼務するようになり、法人全体でグループホーム事業を支える形ができてきたといえるのではないのでしょうか。

1. 役員・評議員

	定数	現員
理事	6以上	6
監事	2以上	2
評議員	7以上	7

※ 任期：理事・監事：令和5年6月15日～

令和6年度に関する定期評議員会終結まで

評議員：令和3年4月1日～

令和6年度に関する定期評議員会終結まで

2. 理事会・評議員会の開催

日 時	会議名	議 事
令和5年5月23日	第1回理事会	・令和4年度事業報告 ・令和4年度決算報告 監事報告 ・施設整備等積立金について ・評議員1名の退任と補充推薦候補者について 及び選任・解任委員会の書面評決について ・役員候補者の選任について ・令和5年度夏季賞与について ・処遇改善加算金の配分について ・特定個人情報取扱規程について
令和5年6月20日	定時評議員会	・令和4年度事業報告 ・令和4年度決算報告 監事報告 ・役員候補者の選任について
令和5年6月27日	第2回理事会	・理事長の選定 ・令和5年4、5月収支報告
令和5年9月26日	第3回理事会	・令和5年6月、7月、8月収支報告 ・最低賃金引上げに伴う非常勤職員時間給の引上げについて ・令和6年度人件費算定に令和5年度人事院勧告給与表を使用することについて ・感染症対策指針・インフルエンザ対策・感染症対応マニュアル・感染症対策委員会規程（案）について
令和5年11月28日	第4回理事会	・令和5年9月、10月収支報告 ・令和5年度 冬季賞与について ・令和5年度 前期処遇改善加算金の配分について ・理事の退任及び新理事候補者の選定について
令和6年1月23日	第5回理事会	・令和5年11月、12月収支報告 ・運営委員会参加職員への会議手当の新設について ・令和6年度賃上及び人件費予算について ・自然災害・感染症対策BPCを作成して ・「埼玉県福祉施設相互支援ネットワーク」参加について
令和6年3月26日	第6回理事会	・令和6年1月、2月収支報告

		<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画（案）及び予算（案）について ・フレンドリー施設長の選任について ・グループホーム「桑ねっこ」施設長の選任について ・福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の申請について ・フレンドリー・はぶたえ 運営規程の変更 グループホーム「桑ねっこ」運営規程・利用契約書・重要事項説明書の変更について
--	--	---

3. 運営委員会の開催

日 時	会議名	議 事
令和5年4月11日	第1回運営委員会	はぶたえ42名、フレンドリー26名、桑ねっこ12名つむぎ7名の月次報告・処遇検討
令和5年5月9日	第2回運営委員会	はぶたえ42名、フレンドリー28名、桑ねっこ8名、つむぎ7名の月次報告・処遇検討
令和5年6月13日	第3回運営委員会	はぶたえ40名、フレンドリー29名、桑ねっこ8名、つむぎ7名の月次報告・処遇検討
令和5年7月11日	第4回運営委員会	はぶたえ41名、フレンドリー29名、桑ねっこ8名、つむぎ8名の月次報告・処遇検討
令和5年8月8日	第5回運営委員会	はぶたえ42名、フレンドリー29名、桑ねっこ8名、つむぎ9名の月次報告・処遇検討
令和5年9月12日	第6回運営委員会	はぶたえ42名、フレンドリー29名、桑ねっこ8名、つむぎ10名の月次報告・処遇検討
令和5年10月10日	第7回運営委員会	はぶたえ45名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名、つむぎ10名の月次報告・処遇検討
令和5年11月15日	第8回運営委員会	はぶたえ45名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名、つむぎ11名の月次報告・処遇検討
令和5年12月13日	第9回運営委員会	はぶたえ45名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名、つむぎ11名の月次報告・処遇検討
令和6年1月17日	第10回運営委員会	はぶたえ47名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名、つむぎ10名の月次報告・処遇検討
令和6年2月14日	第11回運営委員会	はぶたえ51名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名、つむぎ10名の月次報告・処遇検討
令和6年3月13日	第12回運営委員会	はぶたえ48名、フレンドリー30名、桑ねっこ8名、つむぎ10名の月次報告・処遇検討

5. 各種委員会の開催

日時	会議名	議事
令和5年11月15日	第1回感染症対策委員会	委員長の選定、次回開催日の決定
令和6年1月17日	第2回感染症対策委員会	伝達講習の実施状況の確認、年末年始を含む各事業所の感染状況について
令和6年2月14日	令和5年度虐待防止委員会・身体拘束等適正化委員会	虐待防止規定・身体拘束等適正化のための指針等確認、令和6年度に向けての体制確認、各事業所の研修実施状況の確認
令和6年3月13日	令和5年度危機管理・防災対策委員会	危機管理・防災対策委員会の役割について、研修の位置づけ、当法人の業務継続計画について

6. 職員体制

	管理者	サービス管理責任者	就労支援員	目標工賃達成指導員	生活支援員	職業指導員 世話人
--	-----	-----------	-------	-----------	-------	--------------

はぶたえ移行			1 (0.8)		1	2(1.8)
はぶたえB型	1	1		1	1	3(2.0)
つむぎ			就労定着支援 員1(兼務0.2)			
フレンドリー	1	1		2 (1.0)	1	6(2.6)
桑ねっこ	1	1 (兼務)			世話人：7 (1.6) (兼務)	
本部事務局	2 (兼務)					

※ () は常勤換算数

7. 実施事業

事業所名	事業種類	定員	指定日	所在地
ジョブサポート はぶたえ	就労移行支援	1 2	平成29 年 4 月 1 日	深谷市上野台2504-1
	就労継続B型	1 8		
フレンドリー	就労継続B型	2 0		深谷市稲荷町1丁目1-33
桑ねっこ	共同生活援助	8		深谷市緑ヶ丘3-9フジハイツ105 深谷市寿町221 ティーズ青木B棟
つむぎ	就労定着支援		平成31年 3月26日	深谷市上野台2504-1

8. ボランティア・見学の受入

『彩の国ボランティア体験プログラム』に手を挙げているが参加者は0名であった。

精神保健福祉実習は、立正大学から1名の学生を受け入れた。

9. 研修

資格取得に係るサービス管理責任者基礎研修のほか、法人に設置が必要となる衛生推進者の研修、法人全体研修として障害者虐待防止及び身体的拘束等適正化研修、感染症対策研修、自然災害発生時における業務継続計画に関する研修を実施した。

10. 財務

別紙決算報告のとおり

【ジョブサポートはぶたえ】

1. 利用状況

就労移行（定員12名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	7.3	8.3	7.9	7.9	8.3	7.5	7.4	7.7	8.3	8.5	7.2	7.0	7.7(名)
稼働率	60	69	65	65	68	62	61	63	69	70	59	57	64(%)

継続B型（定員18名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	15.9	13.8	12.9	15.1	14	13.3	12.9	14.2	13.8	16.5	17.1	16.8	14.7(名)
稼働率	88	76	71	83	77	73	71	78	76	91	95	93	81(%)

2. 支援内容

1 就労移行支援事業

この1年で2名が就労に結びついた。

一日の平均利用人数は7.7名（前年比+1.9名）。平均稼働率は64%（前年比+16%）。令和4年度は稼働率5割を下回る月があったが今年の最低値は57%と5割強で収まっている。

当事業利用者のほとんどが就労継続B型からの転籍者であり、前年度の継続B型の通所日

数が伸び悩んだ結果、今年度の転籍者が増えなかったこと。また、その中にもあっても就労移行事業利用者に対しては着実に就労に結び付けてきたことがある。

そのため新規利用者に比べ退所（卒業）者が多くなり、結果として利用率の低下につながっているものと思われる。

現在、就労継続B型事業への新規利用者及び、利用日数の増加傾向もみられることから、支援の中でスムーズな転籍を図っていく。また、近隣地域での就労移行事業所が増加する中、当事業所の強みを意識しながら、転籍以外から就労移行の利用も図れるよう他機関との連携や周知を進めていきたい。

②就労継続支援B型事業

この1年の一日平均利用人数は14.7名（前年比±0名）で、81%の稼働率。年明け1月から3月は9割を超える稼働率となっているが、間での落ち込みがあり年間で見ると前年度と変化はない。

新規登録者は、コロナ禍であった令和2年は4名、令和3年は5名と低迷していたが、コロナが落ち着いてきた令和4年は13名、5類に移行した令和5年は15名と、順調に増えてきている。全体としては稼働率の大きな改善には至っていないものの、新規登録者が支援の中で徐々に利用日数も増やしてきており、稼働率の上昇につながっている。

今後も他機関との連携や周知、個別支援を通じて、この状態を推し進めていきたい。

就労移行新事業への転籍者は2名（前年比－2名）であった。

例年に比べてかなり少ない人数が続いている。コロナ禍による新規利用者の低迷と、それぞれの参加日数が増えてこなかったことによるものと思われる。

今後は、まだ参加日数の少ない利用者の通所日数の安定化を図ることで就労に向けた準備を支援し、スムーズな就労移行支援事業への転籍を進めていきたい。

平均工賃は、平均工賃の計算方法が変更されたこともあり9,714円（前年比＋3,360円）であった。

今後も就労に繋がる作業の種別の検討と充実を図りながら、通所意欲及びその先の就労意欲に結びつくような工賃アップを図っていきたい。

【フレンドリー】

1. 利用状況

継続B型（定員20名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	20.4	19.5	22.2	19.6	18.5	18.1	19.2	19.5	19.5	17.4	16.9	17	18.9(名)
稼働率	102	97	111	98	92	90	96	97	97	87	84	85	94(%)

2. 支援内容

1年間の平均利用人数は18.9名（前年比＋0.7名）、94%（前年比3%）の稼働率。

昨年度は残念ながら就職者は出なかったが、前々年度までに就労した者に対しては定期面談や企業訪問を通してフォローを継続している。一時、休職しフレンドリーへ帰ってきた者もいるが、各関係者との協議を重ね、納得のいく形での復職を実現している。

就労継続支援B型事業所からでも着実に就労に繋がっていることから、事業所内の意欲の高まり、技能の向上が認められる。

また、短期就労訓練やトライアルに挑戦するメンバーも多く、次へつながる得難い体験をしている。

所内作業においては、一番古いマックス1Mの針箱詰め機械に伴い、これに代わる針箱詰めとして5Mの受注を開始。誰もができるとまではいかないものの、訓練を重ねお多くのメンバーが従事できるようになった。

【グループホーム「桑ねっこ」】

1. 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	8.0	7.6	8.0	8.0	7.8	8.0	8.0	7.7	7.9	8.0	8.0	7.0	7.8
稼働率 (%)	100	95	100	100	97	100	100	96	98	100	100	87	97

※稼働率は、小数点以下を切り捨て

平均利用人数、稼働率ともに前年度と比べて大きな変動なし。

2. 特記事項

グループホーム専従職員の退職の穴をフレンドリーが埋める職員配置が長らく続いていたが、フレンドリーでも非常勤職員2名の退職があり、人手に困るようになった。そこで不定期であったはぶたえ職員の応援が月曜日固定化されたことにより、法人全体でグループホーム事業を支える形ができつつある。

また、年末実施された実地指導において、更新料の徴収が指導事項に該当。行政機関との協議や、利用者への周知をするなど体制を整え、更新料の名目を廃止し家賃に上乗せしての徴収を令和6年度より実施する。

【つむぎ】

1. 利用状況

就労定着支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
利用数	5	5	7	6	9	9	10	10	8	8	8	8	7.75(名)

2. 支援内容

7年目を迎えるの定着支援事業つむぎは、月平均7.75名が利用した。

支援内容は、職場の人間関係、勤務時間の延長に対する悩み、体調の変化、家族との関係等多岐にわたっており、月1回の面談をベースに、時には職場への支援や電話相談を重ねながら支援を行っている。

利用期限は3年間ではあるが、就労の前から重ねてきた支援を『定着支援』として継続することは、就労安定に効果は高いと言える。